

Nataliya Gudina

ウクライナの歌姫

ナタリーシャ・グジナー

コンサート

水晶の歌声と

バンドウーラの

可憐な響き

●曲目

キエフの鳥の歌
いつも何度でも
秋桜(コスモス)
アヴェ・マリア

ほか

撮影:広河隆一

2009 10/12  開場 13:30
開演 14:00

黒部市国際文化センター コラーレ (マルチホール)

【全席自由(珈琲・紅茶付き)】 3,000円

高校生以下 1,000円 (コラーレでのみ発売)

障害者手帳をお持ちの方 2,500円 (コラーレでのみ発売)

主催/財団法人黒部市国際文化センター 共催/北日本新聞社
協賛/チューリップテレビ 後援/黒部市 黒部市教育委員会

●お問い合わせ●

コラーレ 〒938-0031 黒部市三日市20番地
TEL.0765-57-1201 FAX.0765-57-1207
info@colare.jp <http://www.colare.jp/>
開館時間: 9:00~22:30(土曜~23:00)/毎週水曜休館

●この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。

●未就学児の入場はご遠慮願います。

●公演中の一時保育(無料)を希望される方は事前にご連絡ください。

■プレイガイド

コラーレ/黒部メルシー/魚津サンブラザ/入善コスモホール
アーツナビ(新川文化ホール・富山県民会館・富山県教育文化会館
富山県高岡文化ホール)

Nataliya Gudziy Concert



ナターシャ・グジー 歌手・バンドウーラ奏者

ウクライナ生まれ。

ナターシャ6歳のとき、1986年4月26日未明に父親が勤務していたチェルノブイリ原発で爆発事故が発生し、原発からわずか3.5kmで被曝した。その後、避難生活で各地を転々とし、キエフ市に移住する。

ウクライナの民族楽器バンドウーラの音色に魅せられ、8歳の頃より音楽学校で専門課程に学ぶ。1996年・98年、救援団体の招きで民族音楽団のメンバーとして2度来日し、全国で救援公演を行う。2000年より日本語学校で学びながら、日本での本格的な音楽活動を開始。

その美しく透明な水晶の歌声と哀愁を帯びたバンドウーラの可憐な響きは、日本で多くの人々を魅了している。

2005年7月、ウクライナ大統領訪日の際、首相官邸での夕食会に招待され、演奏を披露。コンサート、ライブ活動に加え、音楽教室、学校での国際理解教室やテレビ・ラジオなど多方面で活躍しており、その活動は高校教科書にも取り上げられている。



小関基之 ピアノ

千葉県生まれ。

幼少からクラシックピアノを習い、大学卒業後ジャズに開眼。その後プロピアニストとして、ジャズを基調としながらもジャンルを超え様々なアーティストとのコラボレーションをはかる。近年米国にて、ジャズピアニストChristian Jacob氏(Jazz Trumpeter/故・Maynard Ferguson氏の秘蔵ピアニストとして知られる)に指導を受ける。

現在、自身のジャズピアノトリオ“mot_trio”を展開中。精力的に活動を行う。

ウクライナの民族楽器 バンドウーラ

ギリシャから伝わった、ウクライナを代表する民族楽器で、60本を超える弦を持つ。椅子に座り、ひざの上に抱えて両手で爪弾いて演奏する大型の楽器で、音色はチェンバロに似ている。また、重さは8kg程度あり、形状は日本の琵琶に似ている。琵琶と同様、昔は盲目のバンドウーラ奏者も多くいたと言われる。ウクライナでも、近年は手に入りづらい貴重な楽器となっている。